

Woody・Petillant 2023

ウッディペティアン 2023

Technical data

- ◆ 品種構成 シャルドネ62%、ピノノワール24%
ソーヴィニヨンブラン10%、アルバリーニョ4%
- ◆ 畑 高台畑、生居畑、大門畑
- ◆ アルコール度数 12.1%vol.
- ◆ 総酸度 4.8g/L
- ◆ pH 3.5
- ◆ 樽比率 0%
- ◆ 生産本数 968本
- ◆ クロージャー ビュディール
- ◆ 瓶詰日 2024年4月9日
- ◆ 発売開始日 2025年3月17日

ウッディ・ペティアン2023



4 946317 020323



Wine Story

多品種によって構成されたワインの魅力は何か。VTに左右されない安定感。または立ち上がる香りから、飲み込んだ後まで満遍なく肉付けされた調和でしょうか。例えば単一品種と単一年度によって構成されたワインにはVTの差は顕著に感じられますが、多品種構成は高い水準で均質化できる余地があります。非常に暑い2023年という気象条件ながら軽快な酸度を保持しつつ、トップから感じる熟した洋ナシや桃のニュアンスは正に総力の賜物。補糖補酸に頼らず、畑の特徴をおさえ収穫時期を柔軟に対応できたウッディらしさを感じるペティアンです。

Technical Supplements

体感した事が無い程、熱いVTの2023年。異例の速さで収穫が始まりました。いつもなら熟すのが遅い区画が今回に限って重要な酸を残してくれました。ピノノワール、ソーヴィニヨンブラン、アルバリーニョ、シャルドネの順で収穫し、それぞれ全房のままプレスしています。軽い澱引きの後はステンレスタンクで発酵完了まで管理しています。品種の個性が補完し合えるようにブレンド後に、軽めのガス圧になるよう瓶内二次発酵を行っています。実はベースのワインはウッディ・ブラン2023です。スティールとペティアンでは香りの出方や味わいが異なります。そこが瓶内二次発酵の難しさと面白さ。スティールで感じていたシャルドネ優位の印象はペティアンになると他のアロマが際立ちます。特にわずかしが含まれないアルバリーニョの個性の強さにはいつも驚かされます。ゴクゴクと飲めるような爽やかさと気軽さが魅力です。

ウッディファーム&ワイナリー

有限会社蔵王ウッディファーム
〒999-3212 山形県上山市原口829
TEL023-674-2343 Fax023-677-2020
e-mail:winery@woodyfarm.com

蔵王山麓かみのやま
WOODY FARM & WINERY